ギガビット・インテリジェント・スタッカブルスイッチ

AT-IX5-28GPX



VCStack





Switch





10/100/1000T 24Ports自動認識





PoE+ 対応



10ギガ 対応

電源ユニット AT-PWR800-70-71



AT-SPSX-Z1 AT-SPSX2-Z1 AT-SPLX10-Z1

AT-SPBDM-A · B-Z1 AT-SPBD10-13 · 14-Z1

AT-SPBD40-13/I • 14/I-Z1 AT-SPBD80-A • B-Z1

AT-SPLX40-Z1 AT-SPZX80-Z1

SFPモジュール

AT-SPTXa-71

SFP/SFP+ 4Slots



SFP+モジュール/スタックモジュール AT-SP10T-71 AT-SP10SR-Z1 AT-SP10LR-Z1 AT-SP10LRa/I-Z1 AT-SP10ER40/I-Z1 AT-SP10ZR80/I-Z1 AT-SP10BD10/I-12 • 13-Z1 AT-SP10BD20-12 · 13-Z1 AT-SP10BD40/I-12 · 13-Z1 AT-SP10TW1 · 3 · 7-Z1 AT-StackOP/9.0-Z1

AT-StackXS/1.0-Z1



マネージメントケーブル AT-VT-Kit3

※「-Z1 | はデリバリースタンダード1年加入権利付き

AT-IX5-28GPXは10/100/1000BASE-Tポートを24ポート、SFP/SFP+ スロットを4スロット装備したPoE+対応10ギガビット・インテリジェント・エ ッジ・スイッチです。

SFP/SFP+スロットは4スロットすべてを10ギガアップリンクとして利用可能 であり、4スロットのSFP/SFP+スロットのうち2スロットにスタックモジュー ルを装着することでスタックポートとして動作、エッジスイッチでVCS(Virtual Chassis Stack) を実現し、エッジレイヤーでの機器運用管理コストの削減を実現 します。

また、10/100/1000BASE-TポートがPoE+に対応しており、PoE+受電機器 を用いた構成にも対応可能です。

電源部はモジュール式電源の採用によって機器内部で冗長が可能であり、電源故障 時も電源ユニットの交換のみで運用を継続することが可能です。

さらにファームウェアバージョン5.4.3からAllied Telesis Management Framework (AMF) に対応し、AT-IX5-28GPX はAMFメンバーとして、多様化・ 複雑化するネットワークの設計・構築や運用・管理の簡素化/効率化を実現します。

本体にサポートサービス (デリバリースタンダード) の加入権をパンドルした型番をご用意しています。デリバリー 2、デリバ リー 6、またはオンサイトサービスをご希望の場合には、加入権がバンドルされていない型番にてご購入いただき、別途有償サ ポートサービスをご契約ください

OPTION

■電源ユニット ―

SFPモジュール ---

SFP+モジュール —

スタックモジュール -

■19"ラックマウントキット ー

コンソールケーブル ー L字型電源ケーブル -

フィーチャーライセンス ―

ー 本データシートでは、製品名中の「CentreCOM」を一部省略しています。 弊社では、ネットワークマネージメント・ソフトウェア製品のお試し版を、Webサイトから提供しております。 弊社ホームペー ジ (http://www.allied-telesis.co.jp/support/list/nms/) からダウンロードできます。

AT-IX5-28GPX

特長

● AlliedWare Plus (AW+)

機能ごとのモジュールに分割されており、単一の障害が与える影響範囲を最小限に抑えることが可能です。これにより、 旧来方式の製品と比べシステム全体の可用性が格段に高まります。

また、業界標準のコマンド体系に準拠し、他社製品からの移行においても、エンジニアの教育にかかる時間と経費を大幅に 削減することができます。

●ネットワークインフラのユニファイド化

Allied Telesis Management Framework (AMF) は、ネットワーク上のスイッチやルーターを仮想的な1台の機器として統合管理し、管理運用の「一元化」、「簡素化」、「自律化」によって、管理・運用に関わるコストの削減を実現するネットワーク仮想化機能です。 AMF は統合管理を行う AMF マスターと管理される AMF メンバーからなり、次の5機能により、ネットワークの統合管理を行います。

• 一元管理(セントライズドマネージメント)

AMFマスターから多数のAMFメンバーを一元管理します。

• 自動構築(オートレジリエントコネクション)

AMFネットワークの自動構築およびAMFメンバーの自動 認識を行います。

• 自動復旧(スマートプロビジョニング)

AMFメンバー設置時の自動設定(ゼロタッチインストレーション**1)、AMFメンバー故障時における交換機器の自動復旧(オートリカバリー)、複数AMFメンバーに対するファームウェアの一括アップグレードや設定変更、一括バックアップを行います。

• 非AMF装置対応(ワイドエリアバーチャルリンク*2)

非AMF装置の混在や広域商用回線を介したAMFネットワークの構築が可能です。さらに、広域商用回線を介して本機能を利用しているAMFメンバーの自動復旧にも対応します(ネイバーリカバリー※3、シングルノードリカバリー)。

• 分散マスター処理 (AMFコントローラー)

AMFマスターの分散配置と統合管理により、大規模ネットワークに対応します。

本製品は、ホットスワップ可能なモジュール式冗長電源を搭載でき、高温環境にも対応するため、より厳しい耐環境性が求められる工場や倉庫の監視カメラ、無線LANアクセスポイントの集約スイッチに最適です。

※1 ファームウェアバージョン5.4.4-1.1以降よりサポート ※2 ファームウェアバージョン5.4.4 以降よりサポート ※3 ファームウェアバージョン5.4.5-1.1以降よりサポート

● VCS(バーチャルシャーシスタック)

複数のスイッチを双方向40Gbpsの帯域幅を持つスタックモジュールで接続することにより、1台の仮想スイッチとして扱うことができます。

VCS グループは、最大4台までのAT-IX5-28GPXで構築できます。

スタック接続されたスイッチはバーチャルIPアドレス/MAC アドレスを用いてIPアドレス/MACアドレスを共有し、かつ L2テーブル、QoS、アクセスリストなどの各種情報を同期することでVCS構成時のマスター/スレーブの高速切替を実現したVCSファストフェイルオーバー(VCS-FF)に対応しています。よって、仮に1台に障害が発生しても運用継続が可能となり、ネットワークダウン・セッションダウンにシビアな環境やアプリケーションへの適応が可能となります。

また、VCSで接続されたスイッチはオールアクティブで稼動するため、ネットワーク資産の有効活用化も実現します。

●ロングディスタンス VCS (LD-VCS)

10Gイーサネット上で動作するVCS「ロングディスタンスVCS」を搭載しています。本機能は、最大4台のスイッチを双方向40Gbpsの帯域幅で接続し、長距離VCS(最大40km/AT-SP10ER40/I使用時)を実現します。

これにより、従来はループ制御プロトコルを使用していた ループトポロジーのプロトコルレスでの構築や、距離的に離れた場所にある機器を接続しコアスイッチ群として運用の効率化を図るなど、より柔軟なVCS構成を可能にします。

EPSR

EPSR (RFC3619) は、レイヤー2レベルでの障害の検出と経路の切り替えをより高速に行います(最短50ミリ秒未満)。また、EPSRスーパーループプリベンション (EPSR-SLP)、EPSRエンハンストリカバリー、独自開発のトポロジー変更時におけるQuery要求機能などにより、マルチキャストアプリケーションへの親和性を高め、かつ二重障害時をも考慮した可用性の高いリングネットワークの構築も可能です。さらに、プレミアムライセンス (AT-x510-FL01) に対応し、EPSRマスターとしても動作が可能になります。

● 10ギガビットイーサネットモジュール (SFP+) に対応

高速イーサネット技術「10ギガビットイーサネット」に対応。 SFP+モジュール対応スロットを4スロット搭載しており、別 売のSFP+モジュールを搭載することで、高速/大容量の10 ギガビットイーサネット環境を提供します。

●アクティブファイバーモニタリング

光ファイバーの受信光レベルを常に監視し、設定したしきい値を下回ると自動的にポートのリンクダウンやSNMPトラップによる通知を実施することかできるため、光ファイバーケーブルの破損などの状況を迅速に把握することができます。

※4 SFP/SFP+光ファイバーポートでのみ有効。本機能をサポートする SFP/ SFP+モジュールについては、コマンドリファレンスをご覧ください。

特長

● PoE+ (IEEE 802.3at) をサポート

従来のPoE (IEEE 802.3af) に加え、高容量給電が可能なPoE+ (IEEE 802.3at) に対応。装置全体として720Wまで給電可能なため、PoE+対応無線LANアクセスポイントやネットワークカメラ等のPoE+受電機器が接続可能です。クラス3 (15.4W) の受電機器を接続する場合、24ポートまで同時給電可能です。

●冗長電源搭載

AT-IX5-28GPXはモジュール型電源を採用し、オプションの電源ユニットを利用し機器内部で電源冗長が可能です。これにより、1台の電源が故障した場合でももう1台の電源で継続稼動が可能なため、業務に支障を与えることなくメンテナンスが可能です。

●充実したセキュリティー機能

• 強固な認証機能をサポート

同一ポート上でIEEE 802.1X認証/Web認証/MACアドレスベース認証の混在を可能とするTri-Auth機能や、同一ポート上でユーザーごとに別々の認証方式で認証し、かつ異なるVLANを動的に付与するマルチプルダイナミックVLAN機能など様々な認証機能に対応し、柔軟な認証環境を実現します。

- Tri-Auth、マルチプルダイナミックVLAN、L3モード エンハンスト ゲストVLAN、Auth-fail VLAN、プロミスキャス/インターセプトWeb認証、2ステップ認証に対応

• 多種多様なセキュリティー機能の搭載

通信内容を暗号化し、安全なリモートアクセス環境を実現する SSHや、ネットワークの集中管理・運用面においても安全性と 利便性・運用性を両立する SNMPv3の暗号化・認証機能など、様々なセキュリティー機能をサポートしています。

- ポートセキュリティー、SSH (Secure Shell)、DHCPスヌー ピング、SNMPv3、ユーザー認証データベース (RADIUS/ TACACS+認証) に対応

●ループガード

LDFやMACスラッシング検出など多彩なループガード機能により、接続ミスなどで発生したネットワークループを自動検出し、設定した動作(ポートディセーブルなど)を自動実行するループガードに対応しています。LEDの点滅で視覚的に表示されるため、該当ポートを容易に特定することができます。

●保守運用性

USBオートブートをサポート。機器設定やファームウェアを保存したUSBメモリーから起動することで、PCレスで設定・ファームウェアバージョンアップ作業が可能になるため、機器交換時やメンテナンス時の作業負荷を軽減し、保守運用性の向上が図れます。

AT-IX5-28GPX

仕様													
仕様	IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3z 1000BASE-LX/SX*1 IEEE 802.3ab 1000BASE-BX10*1 IEEE 802.3ab 1000BASE-BX10*1 IEEE 802.3ae 10GBASE-BX10*1 IEEE 802.3ae 10GBASE-T*2 IEEE 802.3ar 10GBASE-T*2 IEEE 802.3ar Flow Control IEEE 802.3af Power over Ethernet IEEE 802.3at Power over Ethernet+ IEEE 802.3az Energy-Efficient Ethernet IEEE 802.1D-2004 Spanning Tree, Rapid Spanning Tree*3 IEEE 802.10-2003 GVRP,							サポート機能【ベーシック機能】	AMF メンバー機能、IPv4 スタティックルーティング、IGMPv1/v2/v3、ハードウェアパケットフィルター、ポリシーベースルーティング、マルチホーミング、VLAN (ボートベース /IEEE 802.1Q タグベース /IP サブネットベース / プロトコルベース)、マルチブル VLAN、UFO (Upstream Forwarding Only)、GVRP、QoS (IEEE 802.1p / ポリシーベース / メータリング / シェーピング)、ボートトランキング (IEEE 802.3ad LACP / Manual Configuration)、ブロードキャスト / マルチキャスト / 未学習ユニキャストパケットフィルタリング、スパニングッリー (IEEE 802.1b / IEEE 802.1c /				
	IEEE 802.10-2005 VLAN Tagging, Multiple Spanning Tree *4 IEEE 802.1X Port Based Network Access Control IEEE 802.1AB Link Layer Discovery Protocol IEEE 802.1AX-2008 Link Aggregation (static and dynamic) *5 IEEE 802.1p Class of Service, priority protocol IEEE 802.1ad Provider Bridges (Q-in-Q) IEEE 802.1ag Connectivity Fault Management ITU-T G.8032 ERPS								ボートミラーリング、リモートミラーリング、ボートセキュリティー、フローコントロール ^{® 15} 、アクティブファイバーモニタリング ^{® 16} 、LLDP、LLDP・MED、Voice VLAN、ルーブガード(LDF検出/MAング検出/受信レート検出(QoS ストームプロテクション)、パケットストクション、IEEE 802.1X 認証モード(Single Host/Multiple Hos Authentication)、802.1X 暗号方式(MD5/TLS/TTLS/PEAP)、ダイナミックVLAN、13モード エンハンスト ゲスト VLAN、Auth-fail マルチブルダイナミック VLAN、マルチ VLAN セッション、MAC アドエスタース PRIEST SUPPLIEST MAC PRIEST SUPPLIEST SUPPLIEST MAC PRIEST SUPPLIEST MAC PRIEST SUPPLIEST SUPPLIEST MAC PRIEST SUPPLIEST MAC PRIEST SUPPLIEST S				
適合規格	CE								MAC アドレスベース認証、 Supplicant MAC 認証、 Web 認証、 プロミスキャス/インターセプト Web 認証、 2 ステップ認証、				
		安全規格 UL60950-1, CSA-C22.2 No.60950-1 EMI規格 VCCIクラス A IEC60068-2-24									Web 認証、ボート認証設定テンプレート化、 ICP サーバーの連携、ケーブル診断、 ISサーバー、RADIUS クライアント、RADIUS プロキシー、 scounting/Authentication/Logging)、 3スヌーピング、EAP/BPDU 透過、Jumbo フレーム対応*17、		
									ローカルRAD	IUS			
2012 1 110	EU RoHS指令								LD-VCS (口)	ノグデ	ィスタンスーバーチャルシャーシスタック)、		
マネージメント**	SNMP SNMPv1/v2c/v3 SNMP MIB MIB II (RFC1213) IP Forwarding Table MIB (RFC2096) Extended Bridge MIB (RFC2674) *7 Extended Interface MIB (RFC2863) SNMPv3 MIB (RFC3411 ~ RFC3415) SNMPv2 MIB (RFC3418)							バーチャルシャーシスタック、スイッチボートレジリエンシーリンク、 攻撃検出、BOOTP/DHCPリレー、DNSリルー、DHCPサーバー、 DHCPクライアント*18、DHCPスヌーピング、VRRPv3、MLDv1/v2、 Pingボーリング、ARP、プロキシー ARP、ローカルプロキシー ARP、 ディレクティドプロードキャスト転送制御、UDPプロードキャストヘルパー、 SMTP認証、ログ(外部メディア出力対応)、スクリプト、トリガー、USBトリガー、 NTP、Secure Shell、sFlow、					
		Eth IEE Brid RS DIS VR Ent	nernet M EE 802. dge MIB STP MIB SMAN p RRPv3 M tity MIB	3 MAUS 3 (RFC43 3 (RFC43 5 ing MIB MIB (RFC69	C3635) Js MIB (RFC3636) 4188) 4318) B (RFC4560) C6527)			サポート機能【ライセンス機能】	TFTP/Zmodem/HTTPによるソフトウェア/設定ファイルダウンロード、IPv6 Basic、IPv6スタティックルーティング、IPv6-SNMPv1/v2c/v3、MLDv1/v2スヌーピング、NTPv6、DHCPv6リルー、DNSv6クライアント/リレー、DHCPv6サーバー、DHCPv6クライアント**18、DHCPv6・PD、RAガード、スタティックIPv6マルチキャストルーティング、HOLプロッキング防止、Findme プレミアムライセンス(AT-x510-FL01)				
									EPSRマスタ	EPSRマスター、ダブルタグ VLAN、 VLANトランスレーション、 UDLD インダストリアルアプリケーションライセンス (AT-x510-FL10)			
			vate MI						インダストリ				
	RMON	1,2	1,2,3,9 Group					イーサネット	イーサネットCFM (IEEE 802.1ag)、G.8032 (ERPS)				
	ターミナル	ーミナル Telnet ,VT100互換端末(コンソールポート経由)					曲)	LED	ポートLED*	19			
通信速度	10Mbps/10	00Mbps/1	000Mb	ps/10G	bps*2					緑	1000Mbpsでリンク確立時に点灯、		
ポート		ゴシエーシ	ション		79-) × 24 1000M Full 固定設定 X固定設定				L/A	緑	パケット送受信時に点滅 10/100Mbpsでリンク確立時に点灯、 パケット送受信時に点滅		
										緑	受電機器へのPoE電源供給時に点灯		
	SFP/SFP+ RS-232 (R	J-45コネク:			× 4*8				POE	橙	受電機器の異常発生時、ボートの出力電力が上限値を 上回ったことによるボートへの給電停止時に点灯、 PoE電源の電力使用量が最大供給電力を上回ったこと によるボートへの給電停止時に点滅		
	USBポート (USB 2.0、タイプ A (メス)							-	SFP/SFP+	スロッ			
使用ケーブル		非PoE		PoE*11		PoE+*11			L/A	緑	1000M/10Gbpsでリンク確立時に点灯、		
	10BASE-T					UTPエンハンスド・カテ				ED.	10Gbpsでパケット送受信時に点滅 フャグメントとドットにヒス事子		
					カテゴリー 5以上 UTPエンハンスド・カテゴリー 5以上						7セグメントとドットによる表示)		
	1000BASE-T	L	ンスド・カテニ						8	綵	VCS機能が無効で、単体での動作時に点灯 VCS機能が有効で、スタックメンバーとして動作時に		
パフォーマンス			<u> </u>		ストア&フォワード				888	緑	点灯(数字はスタックメンバーID)		
	最大パケット転送 (装置全体/64Byte				95.23Mpps				E	緑	ファンまたは内部温度の異常発生時に点灯		
	スイッチン メモリー容	量フラ	フラッシュメモリー メインメモリー		128Gbps 64MByte 512MByte				888	緑	LED ON/OFFボタンによるLED OFF設定時に点灯。 横3セグメントは以下の状態を表示 上:スタックメンバーのマスターとして動作 中:VCS機能が無効で、単体で動作		
	MACアドレ	MACアドレス登録数			16K*12					+	下: スタックメンバーのスレーブとして動作 USBメモリー接続時に点灯、		
	VLAN登録数 IPv4ホスト (ARP) 登録数 IPv4ルート登録数			1.	4,094個	(VID=1 ~ 4,094)) *13		녜	緑	USBメモリーの書き込み/読み出し中に点滅		
					2K*12				8	緑	本製品の起動中に点灯		
					1K*12*14	1					·		

什様								
電源部		AT D	WPSUU	70	AT-PWR800-70			
电脉即	_	AT-PWR800-70 1 台使用時			2台使用時			
	最大入力電流 (実測値)** ²⁰	6.4A			12.0A			
	平均消費電力**20	280W (最大570W)			510W (最大1010W)			
	平均発熱量**20	990kJ/h (最大2030kJ/h)			1820kJ/h (最大3700kJ/h)			
PoE	給電方式	オルタナティブA						
	最大供給電力	1ポートあ	うたり	30W				
		装置全体		AC電源×2個:720W				
				AC電源×1個:370W				
環境条件	動作時温度	0~50°C						
	動作時湿度	80%以下(結露なきこと)						
	保管時温度	-20~60°						
	保管時湿度		下(結露なきこと)					
外形寸法		D) × 44 (H) mm (突起部含まず)						
質量	5.4kg							
パッケージ内容*9	本体、AT-PNL800/1200スロットカバーパネル、 19インチラックマウントキット(1式)、梱包内容、本製品をお使いの前に 英文製品情報*21、製品保証書(1年間)、シリアル番号シール(2枚)							
オプション(別売)	CentreCOM x51	 0 シリーズド	用フィー	チャーラ	 イセンス* ²³ :			
「-Z1」はデリバ	AT-x510-FL01	-Z1	プレミアムライセンス					
リースタンダー ド1年加入権付	AT-x510-FL10				リアルアブリケーションライセンス			
製品**22	AT-PWR800-70-Z1 800W 対応 AC 電源ユニット SFP モジュール:							
	AT-SPTXa-Z1 AT-SPSX-Z1 AT-SPSX2-Z1 AT-SPLX10-Z AT-SPLX40-Z AT-SPZX80-Z AT-SPBDM-A AT-SPBD10-1 AT-SPBD40-13. AT-SPBD80-A	1 1 1 · B-Z1 3 · 14-Z1 / · 14/ -Z1	1000BASE-T (RJ-45コネクター) 1000BASE-SX (2連LCコネクター) 1000M MMF (2km) (2連LCコネクター) 1000M SMF (40km) (2連LCコネクター) 1000M SMF (40km) (2連LCコネクター) 1000M SMF (80km) (2連LCコネクター) 1000M SMF (550m) (LCコネクター) 1000M SMF (550m) (LCコネクター) 1000M SMF (40km) (LCコネクター) 1000M SMF (40km) (LCコネクター) 1000M SMF (80km) (LCコネクター) 100BASE-BX10 (LCコネクター) 10GBASE-SR (2連LCコネクター) 10GBASE-R (2連LCコネクター) 10GBASE-R (2連LCコネクター) 10G SMF (40km) (LCコネクター) 10G SMF (20km) (LCコネクター) 10G SMF (40km) (LCコネクター) 10FP+ダイレクトアタッチケーブル (1m) 10FP+ダイレクトアタッチケーブル (1m) 10FP+ダイレクトアタッチケーブル (7m)					
	SFP+ E Ü = ¬ J J AT-SP10T-Z11 AT-SP10SR-Z AT-SP10LR-Z AT-SP10LR-A/ AT-SP10ER4/ AT-SP10ER4/ AT-SP10BD10/ AT-SP10BD20-1 AT-SP10BD40/ AT-SP10TW1- AT-SP10TW3- AT-SP10TW3- AT-SP10TW3-	*25 1 1 1-Z1)/I-Z1)/I-Z1 -12 · 13-Z1 2 · 13-Z1 -12 · 13-Z1 -Z1 *26 -Z1 *26						
	AT-StackXS/1 AT-StackOP/9 AT-SP10SR-Z AT-SP10LR-Z AT-SP10ER4C AT-SP10BD10/k AT-SP10BD20-1 AT-SP10BD40/k AT-RKMT-SL01	ンソールケーブル*9:			カッパースタックモジュール (1m) ファイバースタックモジュール (9km) 10GBASE-SR (2連LC コネクター) 10GBASE-LR (2連LC コネクター) 10GBASE-LR (2連LC コネクター) 10GBASE-ER (2連LC コネクター) 10G SMF (10km) (LC コネクター) 10G SMF (20km) (LC コネクター) 10G SMF (40km) (LC コネクター) 19インチスライディングラックマウントキット マネージメントケーブル (RJ-45 (メス) /USB)			
	AT-VT-Kit3 CentreCOM V ⁻ AT-PWRCBL-J01		RS-232	2ケーブル	ー ブル (RJ-45 (メス) /USB) (RJ-45/D-Sub 9ピン) 電源ケーブル (右) **28			

電源ユニット AT-PWR800-70								
定格入力電圧	定格入力電圧 AC100-240V*29							
入力電圧範囲	AC90-264V*29							
定格周波数	50/60Hz							
定格入力電流	10A							
環境条件	環境条件は本体シャーシの仕様に準じます。 シャーシの環境条件を参照してください。							
外形寸法	130 (W) × 250 (D) × 41 (H) mm (突起部含まず)							
質量	1.8kg							
LED	電源ユニットLED							
	DC OUT/	緑	電源ユニットの正常動作時に点灯					
	FAULT	橙	電源ユニットの異常動作時に点灯					
パッケージ内容	本体、電源ケーブル*29、電源ケーブル抜け防止フック、 英文製品情報*21、製品保証書 (1 年間)、シリアル番号シール (2 枚)							

- ※1 対応SFPモジュール装着時
- **%**2 対応 SFP+モジュール装着時
- ж3 IEEE 802.1w Rapid Spanning Tree 包含
- **%** 4 IEEE 802.1s Multiple Spanning Tree包含
- ※5 IEEE 802.3ad と同等
- **%**6 トラップ情報は、弊社ホームページにてご確認ください。
- Q-BRIDGE-MIBのみサポート **%**7
- **%**8 本製品のポート27,28はスタックポートとして使うか、拡張用のスイッチポートと して使うかを選ぶことができます。VCS機能を有効に設定するとスタックポートに、 無効に設定するとスイッチポートになります。
- 本製品にはコンソールポート接続用ケーブルは同梱されておりません。また、出荷時 はIPアドレスが付与されておりませんので、別途、マネージメントケーブル「AT-VT-Kit3」またはRS-232ケーブル「CentreCOM VT-Kit2」をご用意ください(AT-VT-Kit3 には、別売のUTPケーブルが必要です)。
- なお、AT-VT-Kit3のUSB使用時の対応OSは、弊社ホームページにてご確認ください。 ※10 USB 2.0の USB メモリーをご使用ください。また、ご使用の際には、お客様の使用環 境で事前に検証を行ったうえで導入してください。
- ※11 8線結線のストレートタイプのUTPケーブルをお勧めします。
- ※12 表中では、K=1024
- ※13 IPアドレスの設定が可能なVLAN は256個
- ※14 インターフェース経路、スタティック経路、ダイナミック経路など、各種経路情報を 含めた登録数です。
- ※15 VCS構成時は、PAUSEフレームの送信 (both) はサポート対象外で、PAUSEフレー ムの受信 (receive) のみをサポート
- ※16 SFP/SFP+光ファイバーポートでのみ有効。本機能をサポートするSFP/SFP+モ ジュールについては、コマンドリファレンスをご覧ください。
- ※17 13312Byte以下
- ※18 ファームウェアバージョン5.4.4-0.4以前および5.4.5以降でサポート
- ※19 LED ON/OFFボタンによって消灯可能 (エコLED)
- ※20 AT-SP10T×2個またはAT-SP10ZR80/I×4個 使用時
- ※21 日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。
- ※22 Zは「デリバリースタンダード」、下1桁目は提供年数を表します。
- ※23 VCS構成でフィーチャーライセンスの各機能を利用する場合は、VCSマスターおよ びVCSスレーブの双方に同一のフィーチャーライセンスが必要です。
- ※24 1000Mでの接続のみサポートしています。
- ※25 10Gでの接続のみサポートしています。また、AT-SP10T使用時は上下左右に隣接 する SFP/SFP+スロットを空きスロットにしてください。SFP/SFP+スロット4個 のうち、半数のSFP/SFP+スロットにのみ搭載可能です。
- ※26 ダイレクトアタッチケーブルは、弊社製品同士での接続のみサポート対象となり、他 社製品との接続はサポート対象外となります。他社製品との接続が必要な場合は、ダ イレクトアタッチケーブル以外のSFP+モジュールを用いて、事前に充分な検証を 行ったうえで接続するようにしてください。
- ※27 ファームウェアバージョン5.4.5以降でサポート
- ※28 電源ケーブル抜け防止フックとの併用はできません。
- ※29 AT-PWR800-70に同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vでご使用の場合 は、設置業者にご相談ください。

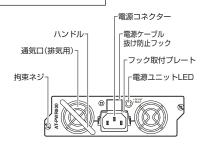
外観図



AT-IX5-28GPX

外観図 - オプション -

AT-PWR800-70 800W対応 AC電源ユニット

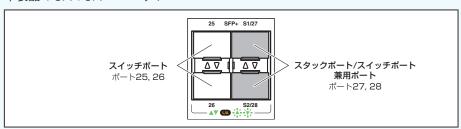


● SFP/SFP+スロットを利用したスタック接続(VCS)

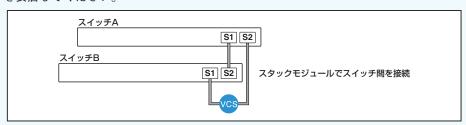
AT-IX5-28GPXのポート27, 28はスタックポートとして使うか、拡張用のスイッチポートとして使うかを選 ぶことができます。

CLI上で、VCS機能を有効に設定するとスタックポートに、無効に設定するとスイッチポートになります(VCS 機能は初期設定で有効化されています。なお、有効・無効を設定変更するには、システムの再起動が必要にな ります)。

本製品のSFP/SFP+スロット



VCS機能有効時、末尾の2ポートはスタックポート1 (S1), 2 (S2) となり、複数のスイッチをリング状に接続 するためのポートとして動作します。スタックポートとして使用する場合は、オプション (別売) のスタック モジュールを装着してください。



※ VCSに関する詳細な情報は、弊社ホームページに掲載されています。ご使用の際は、必ずコマンドリファレンスの「バーチャルシャーシスタック (VCS)」をお読 みになり内容をご確認ください。



●CentreCOM、CentreNET、SwitchBlade、TELESYN、AlliedView、VCStackロゴ、EPSRingロゴ、LoopGuardロゴ、PoE plusロゴ、AT-UWC、Allied Telesis Unified Wireless Controller、SecureEnterpriseSDNロゴ、AT-VA、AT-Vista Managerはアライドテレシスキールディングス(株)の登録商標です。●Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。●大きたは商標です。●大きたは高橋です。●大きたは高橋です。●大きは、学社商売製品を日本国外への持ち出しませばけり国金製造の大力国製造したさらに打ち込み受ける場合が、日本の大力を対してはは、日本の大力を対しては、日本の大力を対しては、日本の大力を対しては、日本の大力を対しては、日本の大力を対しては、日本の大力を対しては、日本の大力を対しては、日本の大力を対しては、日本の大力を対しては、日本の大力を対しては、日本の大力を対しては、製造のサポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

販売店



0120-860442 デレマーケティング (月〜金/9:00~17:30)

http://www.allied-telesis.co.jp/

アライドテレシス株式会社 最寄りの営業所の連絡先は下記にてご確認ください

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-21-11 第2TOCビル 弊社ホームページ>>会社案内>>事業所一覧